

平成26年12月教育委員会定例会 会議録

平成26年(2014)12月24日(水)午後4時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	木 村 保 孝
教育委員(委員長職務代理)	成 相 善 美
教 育 委 員	下 手 泰 子
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 会議に欠席した委員

教 育 委 員	本 田 惠 子
---------	---------

3. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 部 長	打 田 祥 一
教 育 部 次 長	山 田 俊 司
教 育 政 策 課 長	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	須 田 英 典
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
出 雲 中 央 図 書 館 館 長	山 本 利 明
子 育 て 支 援 課 長	三 島 武 司
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之
学 校 教 育 課 課 長 補 佐	多 々 納 満
学 校 教 育 課 児 童 生 徒 支 援 室 長	武 田 寿 博

4. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

5. 傍聴者

1名

開会

(木村委員長) 只今から平成26年12月出雲市教育委員会定例会を開催いたします。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(木村委員長) それでは、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。赤木教育政策課長に進行をお願いします。

(赤木課長) 只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、尾崎秋夫様、鎌田熹男様 です。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

(ご功績の紹介)

それでは、木村教育委員長から感謝状を贈呈します。皆様、ご起立ください。委員長、前へお願いします。お名前をお呼びいたしますので、前の方へお進みください。

「尾崎秋夫様。」

(木村委員長) (尾崎氏へ感謝状と記念品を贈呈)

(赤木課長) 続きまして、「鎌田熹男様。」

(木村委員長) (鎌田氏へ感謝状と記念品を贈呈)

(赤木課長) それではここで、お二方を代表しまして、鎌田様からご挨拶をいただきます。よろしくお願い致します。

(鎌田氏あいさつ)

(赤木課長) ありがとうございます。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了いたします。大きな拍手でお送りください。

2. 会議録の承認

(木村委員長) それでは会議録の承認に入ります。前回11月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) 特に意見等ありませんので、11月定例会の会議録については承認いたします。

3. 教育長行政報告

(木村委員長) 次に、教育長行政報告を、榎野教育長にお願いします。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H26.11.28 市議会初日 ~12.18
- H26.11.29 同和教育研究指定発表会(国富)
- H26.12.2 市議会一般質問 ~12.5
- H26.12.9 校長の会議
- H26.12.9 まちづくり懇談会(北浜)
- H26.12.10 市議会文教厚生委員会
- H26.12.12 保幼小連携推進委員会
- H26.12.12 まちづくり懇談会(稗原)
- H26.12.15 市議会予算特別委員会
- H26.12.18 市議会最終日
- H26.12.20 ネットラブル対応シンポジウム
- H26.12.24 県学力育成会議
- H26.12.24 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

- H27.1.6 管内教育長会
- H27.1.11 成人式
- H27.1.16 市議会全員協議会
- H27.1.20 管内教育長会
- H27.1.26 まちづくり懇談会(上津)
- H27.1.27 定例教育委員の会議
- H27.1.27 檜山小再編統合説明会

(1)一般質問

○米山広志議員 小中学校事務職員

- ①各小中学校の正規職員と非正規職員の数
- ②未配置の小中学校数
- ③育休・私傷病休暇等の対応
- ④今後の事務支援体制

○川上幸博議員 **小学校での英語教育の実施と今後の計画について**

- ①国際理解教育の推進としての英語教育の課題は
- ②2020年度より小学3年生から英語教育が始まる。現在、小学校では英語指導助手（AET）、中学校では外国語指導助手（ALT）が派遣されているが、今後の増員に向けた取組と財源確保策を伺う
- ③小学校教員への英語研修に向けての取組を伺う
- ④各小学校区での英語教育を通じた小中連携策の検討は行われているのか

○大谷良治議員 **消防団を中核とした地域防災について**

前段落

学校教育の場で行われている防災教育について

- ①取組状況
- ②消防団への理解促進

○保科孝充議員 **積極的な教育政策の推進を求めます**

- ①学力テストの公表はどのように考えているか
 - ・市教委としての議論の経過
 - ・学校現場、保護者の意見
 - ・今後、（数値）公表の考えはないのか
- ②地域の発展を目指す小中一貫教育校の実現
 - ・小中学校の一貫教育の現状はどうか
 - ・統合校、廃校を検討する段階において、一環教育校の設置を目指す考えはなかったのか
 - ・地域の活性化、人口の定住につながり、地域の理解も得られる前向きな考えでのモデル校の実現
- ③外国籍児童生徒の教育策はいかに
 - ・外国籍の地域別住民数
 - ・外国籍児童生徒の各校別数
 - ・教育現場での対応状況
 - ・モデル校を設置して集中的に実施してはどうか

○寺本淳一議員 **学力調査結果の公表について**

- ①全体への学力調査結果（数値）を公表しないことについての認識を伺います。（どのような弊害があるのか）
- ②公表は段階的にとの協議でしたが、ある程度具体的な時期や方法（目標）は必要と考えられますが、今後どのように進めていかれるのか。

(2)全員協議会（初日）

- ①佐香小・久多美小再編統合推進委員会の設置について
- ②学力調査の学校別結果の公表内容について
- ③学校給食における異物混入について
- ④学校給食地産地消ネットワーク会議専門部会の設置について

(3)文教厚生常任委員会（12/10）

- ①学力向上推進プランについて

②斐川学校給食センターの改善実施予定について

③学校における給食保管の改善状況について

(木村委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(木村委員長) 先ほど報告にありましたが、全国学力調査について、4月に実施してそれを各学校でコピーを取って、それから解答用紙を出す。そういうことは学校でテストをする時は大事なことだと思います。実際に採点したり最後までチェックすることは大変な労力がいると思いますが、まずざっと見て、何も書いてない部分が多いところについては、早急にチェックしてすぐに指導できるとか、だいたいおおよその傾向が分かりますので、そういうことはとても大事なことだと思っています。そういったことに対する対応は早いほどいいと思いますので、学校の負担は大変だとは思いますが、より良い方向で活用していくといいと思います。

(槇野教育長) 学校側はどうしても負担が増しますので、松江市なども「負担が増すので」という声が非常に強かったようですが、やはりこれからやっていかなければいけないということで、去年からやっているという話がありました。県にも言いましたが、他の県は、県が「一斉にやる」という方針を出してやっているところもありますので、島根県もそのように、やるならやるとはっきり言ったらどうですかと言いましたが、結果的にはそれぞれの市町村教育委員会の判断によるべきものということで、これは原則だとは思いますが、いつもよりはやや強めの、全県でやりましょうという感じの方向で終わりました。ぜひ出雲市でも、自校採点を早めから校長会で話をして、準備を進めたいと思っています。

(木村委員長) ある程度、県がイニシアチブをとって、こういう形で全県でやりましようと言われないと、この方向でそれぞれの所で検討してくださいと言われても、みんなが足並みがそろわないし温度差もありますので、一律にやっていきたいというところはあります。

(下手委員) 県の学力調査が4月から12月になったのは、何か意味があるのですか。

(槇野教育長) 要は、サイクルをどう作っているかということだと思います。4月にやっても、当年度の対策としてやるにはどうしても年度の後半に対策を始めていくような感じがありました。12月にやって、それまでやってきた成果を12月段階で評価をして、年明けで結果が返って分析して翌年度へ備えていくというサイクル。そういうことを考えてのことではないかと思っています。事前に県からアンケートと言いますか調査があつて、12月に変更しようと思うがどうかという内容ですが、出雲市は従来どおり4月実施でという回答をしていましたが、全県下の意向を踏まえて12月中旬の実施にしたいということだったようです。

4. 議事

(木村委員長) それでは議事にはいります。「議第42号 出雲市立図書館協議会委員の任命について」を、出雲中央図書館 山本館長 に説明願います。

(山本館長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第42号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第42号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第42号については承認します。

(木村委員長) 次に、「議第43号 出雲市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱」を、教育部 山田次長 に説明願います。

(山田次長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第43号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第43号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第43号については承認します。

(木村委員長) 次に、「議第44号 すずらん教室室長の辞職及び採用について」を、教育政策課 赤木課長 に説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第44号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第44号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第44号については承認します。

(木村委員長) 次に、「議第45号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、学校教育課 須田課長 に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第45号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第45号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第45号については承認します。

5. 報告

(木村委員長) 次に、報告事項に入ります。報告(1)「出雲市立多伎幼稚園移管先法人の決定について」を、子育て支援課 三島課長 に説明願います。

(三島課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(槇野教育長) 保護者の方への説明をされたと思いますが、反応はどうですか。

(三島課長) 保護者の方への説明会につきましては、都合4回行っております。その内3回が幼稚園の保護者に対する説明です。あと1回が保育園側の保護者に対する説明です。幼稚園の保護者の方につきましては、隣の保育園の方に吸収されるというイメージが当初非常に強く、そういうことに対する漠然とした不安感、環境の変化に対する子どもへの心配というようなことがあります。そのあたりを丁寧に説明しましたことと、移管先法人が決まった後は、より具体的な保育内容について説明を行いましたので、現段階では幼稚園の保護者のみなさんについても、ご理解いただいたものと捉えております。それから保育園側の保護者の皆さんにもご説明申しあげました。この認定子ども園化について、一番メリットがあるというか、目に見えて分かりやすい保護者に対するメリットというのは、実は保育園側の方により多くあります。と言いますのは、まず、教育・保育を幼稚園と同じ水準で提供されるということが一点、二点目としまして、保育園のままですと、その保護者の方が離職をされた場合は保育園を退園しなければいけないということで、親さんの就労状況がそのまま子どもの教育・保育環境に影響するということがあります。保育園のままですとそういったことがありますが、認定子ども園化にしますと、保育園部の方に居続けることは難しいですが、幼稚園部の方に移行していただいて、引き続き環境を変えずにその園で教育・保育ができるというような点があります。このような点についてお話をしましたら、おおむね良好な受け入れをしていただいたと思っております。もっとも先ほど言いました退園しなくてもいいのは、幼稚園部の3歳から5歳の子どもでして、0歳から2歳までは今までと変更はありませんが、それでも大きな前進ではないかと思っております。

(榎野教育長) 今回はたまたま隣接している1法人の応募でしたが、今後こういう事例が出てきた場合に複数の応募があった時、いろいろな評価項目を設けての比較をされると思いますが、子ども園化の対象とした幼稚園と、希望された保育所、保育園が複数あった場合の距離の問題というのは、今段階で何か整理がなされていますか。

(三島課長) 国の基準ということでは、「一体として運営することが望ましい」ということが出ておまして、具体的に距離が何メートル以内という指針は出ておりません。ただどの程度が一体として、お互いの良さを活かしながら運営ができるかというのは、今後の検討課題だと思っております。

(榎野教育長) ありがとうございます。

(木村委員長) 認定子ども園化にされることによって、保護者の負担金はどのようになるのでしょうか。

(三島課長) 基本的に27年4月から保育料の考え方は変わりますが、認定子ども園に移ったからといって変わるものではありません。ですから今幼稚園に通っているお子さんが幼稚園部に行かれば、他の私立幼稚園と同じ負担をいただく、今たき保育園に通っている方は認定子ども園に変わった場合でも、認可保育所そのままの場合と同じ金

額を負担いただくということです。

(木村委員長) わかりました。

6. その他

(木村委員長) 次に、「その他」に入ります。 教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 赤木課長 に説明をお願いします。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

7. 次期教育委員会の開催時期

(木村委員長) それでは次期教育委員会の日程ですが、1月27日(火)午後2時から市民応接室で開催いたします。それでは、以上をもちまして、教育委員会12月定例会を閉会といたします。

(16:47) 定例教育委員会閉会